

「1978 年のゲームサウンド再現計画」の基板をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

型式名 SMS-xxx-ORG シリーズの基板では、インベーダーゲームのオリジナル回路を可能な限り再現し、オリジナルに近いサウンドを出すことを目的としていますが、実際の基板や筐体とは異なります。特にスピーカーやアンプ、部品の品質などの環境が異なるため、完全に同じ音が出るということではありません。どうかご了承ください。

この基板は製作キットですので、部品は実装されておりません。また、詳しい説明はついておりません。部品と部品表が付属しますので、基板のシルク印刷に合わせて部品をとりつける、抵抗器やコンデンサの種類や定数の読み方がわかるレベルの電子工作に関する知識と、相応の工具が必要です。

もし腕に自信がない場合には、電子工作入門の書籍やサイトであらかじめ学習するか、身近な詳しい方にお尋ねください。初歩的、基礎的な部分に関してのお問合せにはお答えしかねる場合があります。

完成品をお買い上げの方は、出荷前に動作を確認していますので、電源や出力の配線を正確にいただければお使いいただけますが、一度でもご利用後の動作の保証はいたしかねます。

なお、部品セットのパッケージングには慎重を期しておりますが、何せ手作業でひとつひとつやっておりますので、特に抵抗器など数が多いので、不足等がありましたらご容赦ください。

回路図やサポート情報は煩悩産業ホームページで随時公開していきますので、ご参照ください。

<https://bonezine.web.fc2.com/SpaceMonsterSound.html>

※組み立て作業およびその後の運用に際して、当方は一切の責任を負いません。購入者、利用者、ご自身の責任においてご利用ください。

- ご注意ください -

・今回の配布基板 rev. 001 および rev. 011 に付属している JST-XH ハーネスの 3P 及び 5P タイプは汎用品のため、ケーブルの色が信号線の内容と一致していません。特に、黒の線は GND ではないのでお間違えの無いようご注意ください。あらかじめ、黒のケーブルが GND の位置になるようにコンタクトを付け直してやるのもいいかもしれません。

・電源は 12V の安定化された DC 電源を使ってください。絶対最大定格は搭載されている半導体のものに準拠します。逆接続対策がついていませんので十分に気を付けてください。9V でも動作しますが若干、音に違いが出ます。

- SMS シリーズ TIPS -

・オーディオ出力はモノラルで、ラインレベルで出ています。SMS シリーズのオーディオ出力同士はそのまま並列にすればミックスされます。音量は基板上についている半固定抵抗を回して調節してください。

・サウンドを出すトリガー信号の入力はすべて正論理：ハイアクティブで、電源電圧でプルアップされていますので、マイコン等のデジタル I/O 出力を直接接続してはいけません。（回路図を参照してください）何も接続しない状態で電源を入れるとトリガーオン状態でサウンドが出っぱなしになります。ノーマル ON のスイッチを GND 間に接続して使うか、例えば 74LS06 や 74LS07、ULN2003 等、オープンコレクタ出力で駆動してください。

煩悩産業 Bonezine

Twitter : @Bonezine

BOOTH : <https://bonezine.booth.pm/>

ホームページ : <https://bonezine.web.fc2.com/>